

<<<今号の目次>>>

1. コラム 変化するフリーターの意識と実態

2. 最新情報

《地方公共団体等の動き》 10件

■□■ 1. コラム ■□■

変化するフリーターの意識と実態

堀 有喜衣 さん

労働政策研究・研修機構・副統括研究員

専門は教育社会学。第11回労働関係論文奨励賞。2018年度社会調査協会賞（優秀研究活動賞）。最近の著書として『高校就職指導の社会学—「日本型移行」を再考する—』（勁草書房、2016年）ほか

フリーターの定義は使用される場面によりますが、一般的には、正社員以外の雇用形態（パート・アルバイト等）で働く15～34歳の若者を指すことが多く、時代によりその動向も変わってきていることが調査により分かりました。今回は、若者の働き方や意識の変化について、「第5回 若者のワークスタイル調査」（※）を担当された堀さんに、約20年間の変化について伺いました。

◆やむを得ず型からステップアップ型へ

この調査は、2001年から継続して行ってきたものであり、その時々若者の働き方を捉えるために行ってきました。データには、日本の経済情勢はもちろん、最近ではコロナ禍における影響もみることができます。

調査では若者がフリーターという働き方を選択した理由ごとに、夢追求型・モラトリアム型・やむを得ず型・ステップアップ型に分類しているのですが、2001年当時は景気の状態が悪く、「正社員になれずやむを得ずフリーターになる」という「やむを得ず型」が多くいましたが、近年では売り手市場のおかげで仕事につけない人が減り、それに伴

い、「やむを得ず型」が減少しつつあります。

また、調査を進めるにつれて「何かしら理由がありフリーターの道を選んだ」という人が増えてくるようになりました。傾向としては、大学・大学院卒の人たちが、他に目標となる仕事や資格取得を目指すため、とりあえず日銭を稼ぎながら、準備期間としてフリーターになっています。そのため、「ステップアップ型」が一定数を占めるようになっており、高学歴化の傾向もみられます。このようにフリーターを選ぶ理由も多様化し、シンプルな構図では語るができなくなりました。

◆情報過多のなかで生き抜く若者たち

2023年、若者たちはインターネットを通じて様々な情報を手軽に入手できます。インターネットが普及していなかった時代は、自分の周囲の情報しか分からなかったわけですが、今では会ったこともない世界的に立派な成功者たちのエピソードを簡単に共有することができます。これにより多様な生き方、従来の日本型雇用とは異なる多様な働き方にも触れることになりました。

人間関係においても、SNSの広がりにより、職場を中心としない関係の構築が可能となり、相対的に職場の重要性が低下している面もあるといえるでしょう。そのため、仕事に注力する生き方から、自分のやりたいことを優先したいと考える若者が増え、ある意味ではワークよりライフにおける比重が大きくなってきています。

職場側も若者とのワーク・ライフ・バランスにおける価値観の相違が生まれにくいよう努めなければならないでしょう。

◆自由な働き方をポジティブに捉える

20年程フリーターの研究をしていますが、当初は今で言う就職氷河期世代のように不景気の影響を受けた人たちが主にフリーターに該当していました。一度フリーターになると正社員になるのが難しく30代になったら暮らしていけないなど、負の側面が注目されていました。それに伴いフリーターに対する若者の意識も、否定的になっていく時期が長く続きました。

しかし2021年の調査では男女ともにフリーターについて肯定的な意識が増えてきました。これは、コロナの影響を受け、働き方が大きく見直されたことにも理由があり、一社に依存せず自身の望む方向へ進みたいなど、新しい自由な働き方として肯定的にとらえる兆しが再び見えています。このような意識の変化はフリーターに限ったことではなく、正社員にも同じことが言えます。「いつでも転職できる自分でいたい」とキャリアを職場や企業に預けたくない気持ちが若者の間で高まっているようです。

企業側も、こうした若者の意識の変化をしっかりと捉えることが重要です。

※独立行政法人労働政策研究・研修機構 労働政策研究報告書 No.213

大都市の若者の就業行動と意識の変容―「第5回 若者のワークスタイル調査」から―

<https://www.jil.go.jp/institute/reports/2022/0213.html>

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《地方公共団体等の動き》

(各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。)

【群馬県】

[動画公開中!] 男性の育児休業取得促進セミナー

令和4年10月1日から「産後パパ育休(出生時育児休業)」がスタートし、更に男性が育児休業を取得しやすくなりました。なぜ今、男性の育児休業取得が必要なのか。第1部では、男性育休を取り巻く状況、育児休業取得のメリットについて、企業側・パパ側から分かりやすく解説します。第2部では、男性の育児休業制度や育児休業給付制度について、更に詳しく解説します。男性の育児休業取得をテーマに、男女とも仕事と育児を両立できる職場環境、働きやすい企業を考えてみませんか。

動画概要:

第1部「男性育休が家族の未来を変える」(約35分)

第2部「男性の育児休業取得について～改正育児・介護休業法のポイント～/雇用保険育児休業給付制度について」(合計約40分)

<https://www.pref.gunma.jp/site/sankakuse/175270.html>

【千葉県】

千葉県男女共同参画地域推進員事業(千葉・葛南地域)「あなたらしい自由な働き方 自由な生き方 ～無一文からのスタート～」

令和4年12月上旬より、千葉県男女共同参画地域推進員事業(千葉・葛南)「あなたらしい自由な働き方 自由な生き方 ～無一文からのスタート～」を千葉県男女共同参画センター公式YouTubeチャンネルにて限定配信いたします。講師は、歌手、歌唱・トークボイストレーナーであり、NPO法人『Pure Wings Label』代表である押田じゅんこさんです。エンタメ業界での御経験、シングルマザーとしての起業などを通じて、目指す未来に向けたお話を男女共同参画の視点から御講演いただきます。

受付期間: 令和4年10月29日(土)～令和5年3月31日(金)

開催場所: 千葉県男女共同参画センター公式YouTubeチャンネル

対象：一般県民

費用：無料 ※御視聴に係る通信料は御負担ください。

申込方法：申込フォームより

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyousei/event/2022/r4chibakatsunannzigyoul.html>

【東京都】大田区

〔展示開催中〕わたしの身体と心 もっと自分で決めていい！～わたしらしくいるためのヘルスケア～

月経（生理）や産後の不調、更年期など、女性特有の体の悩みは多岐にわたります。ひとりで我慢せず、自分にあったケアを身につけて、自分らしい生き方、過ごし方を見つけましょう。

日時：令和5年2月23日（木・祝）～3月30日（木）9：00～21：00

場所：エセナおおた 展示コーナー

参加費：無料

<https://escenaota.jp/event/5515/>

【東京都】北区

スペースゆう区民企画協働事業「LGBTQ+～性の多様性～」講演会 自分らしく生きていく
北区では、多様性を認め合い、誰もがいきいきと生きることができる差別のない人権尊重社会の実現を目指し、様々な啓発や取組を行っています。トランスジェンダー当事者として活動されている講師と一緒に、性的少数者の抱える生きづらさや、生活上の困難の解消など、性の多様性について理解を深めます。

日時：令和5年3月25日（土）14：30～16：30（開場 14：00）

場所：北とぴあ ドームホール

対象：テーマに関心のある方

定員：60名 ※申込先着順

参加費：無料

申込方法：電話又は申込フォームより

<https://www.city.kita.tokyo.jp/tayosei/kk-r4-rainbow.html>

【神奈川県】横浜市

第27期（2023年春）「ガールズ編しごと準備講座」説明会

「しごとがなかなか続かない」「人間関係が苦手」「働けるかどうか不安」「でも親から自立したい」「なんとか自分の力でやっていきたい」……『ガールズ編しごと準備講座』は、そんなあなたのための講座です。講座は1回2時間×11回。前半はヨガやアサーティブネスのワークなどでからだところをゆるめ、まずは自分を大切にすることを体験します。後

半は働くときに土台となる「わたし」や自分の持つ力について、小さなワークなどを通して考えていきます。

日時：令和5年4月7日（金）14：00～15：30

場所：フォーラム南太田 2階大会議室

対象：15～39歳までのシングル女性

定員：20人 ※先着順

参加費：無料

申込方法：電話、来館又はWeb

<https://www.women.city.yokohama.jp/m/event/19633/>

【山梨県】

やまなしの女性史を学ぶ 第2回 山梨の女性政策を拓いた古屋繁子さん ～教頭から県初の女性課長、県立総合女性センター第3代館長として～

「ジェンダー平等」世界最低ランクの日本の中でも下位を低迷している山梨県—そもそも山梨の女性政策はいつから始まったのでしょうか？「女性差別撤廃条約」が国連で採択される前年の1978年、山梨では当時の主要女性4団体が連名で県議会に提出した請願が採択された結果、県庁に初めて「婦人問題担当窓口」が設置されました。1980年には、これが「青少年婦人対策課」に昇格し、初代課長に学校現場から古屋繁子さんが迎えられ、県初の女性課長が誕生しました。古屋さんは、県立総合婦人会館（現・びゅあ総合）の建設準備にもかかわらず、3代目館長としても活躍されました。多くの資料や証言をもとに、山梨の女性政策の土台作りをリードした古屋さんの足跡をたどり、現状を考える一助にしたいと思います。

日時：令和5年3月25日（土）13：30～16：00

場所：甲府市総合市民会館 大会議室 他

対象：どなたでも

参加費：無料

定員：会場 30人 ※びゅあ峡南・富士はそれぞれ12名

オンライン 30人

申込方法：電話、FAX、メール又は申込フォームより

<https://www.yamanashi-bunka.or.jp/pwm/descriptsgo.html?code=1815>

【静岡県】

テレビ静岡「テレビ寺子屋」公開録画 観覧募集のお知らせ

ゲスト講師に弁護士の住田裕子さんを迎え、番組収録を行います。

日時：令和5年4月22日（土）13：15～15：15（開場12：15）

場所：あざれあ6階大ホール

定員：250人 ※申込先着順

申込方法：電話、FAX 又は申込フォームより

<https://www.azarea-navi.jp/event/202304221s/>

【愛知県】

～中小企業女性活躍推進モデル事業～ 女性活躍の課題や秘訣、取組事例を紹介する冊子「女性が活躍すると会社も輝く！」を作成しました

愛知県では、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現に向けて、2013 年度から「あいち女性の活躍促進プロジェクト」を推進しています。今年度、その一環として、中小企業女性活躍推進モデル事業を実施し、中小企業の女性活躍推進の参考となるよう、女性活躍の課題や秘訣、取組事例を紹介する冊子「女性が活躍すると会社も輝く！」を作成しましたので、お知らせします。今後、企業の皆様の女性活躍推進に本冊子を是非、御活用ください。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kaisyamokagayaku.html>

【兵庫県】

イーブン 30 周年・あなたを輝かせる人生 100 年時代セミナー「更年期を起点に幸福度をあげる ～人生 100 年時代の女性の折り返し地点を考える～」

あなたを輝かせる人生 100 年時代セミナー「更年期を起点に幸福度をあげる～人生 100 年時代の女性の折り返し地点を考える～」の録画映像を配信しています。40 代～50 代に迎える更年期。仕事・子育て・介護と多様な役割を担うときに、心身の不調を迎え、悩む女性が増えています。そんなあなたが一人でつらさを抱えずに乗り切り、更年期からの人生を楽しむためのヒントを紹介します。人生 100 年時代の楽しみ方を再発見する機会にしませんか。

配信期間：～令和 5 年 3 月 31 日（金）23：59 まで

対象：県内在住、在勤又は在学の方

視聴方法：インターネットを利用した動画配信を御視聴いただけます。

申込方法：申請サイトより

<https://hyogo->

[even.jp/seminar/new%e3%80%90%e9%8c%b2%e7%94%bb%e6%98%a0%e5%83%8f%e9%85%8d%e4%bf%a1%e3%80%91%e3%82%a4%e3%83%bc%e3%83%96%e3%83%b330%e5%91%a8%e5%b9%b4%e3%83%bb%e3%81%82%e3%81%aa%e3%81%9f%e3%82%92%e8%bc%9d%e3%81%8b.html](https://hyogo-even.jp/seminar/new%e3%80%90%e9%8c%b2%e7%94%bb%e6%98%a0%e5%83%8f%e9%85%8d%e4%bf%a1%e3%80%91%e3%82%a4%e3%83%bc%e3%83%96%e3%83%b330%e5%91%a8%e5%b9%b4%e3%83%bb%e3%81%82%e3%81%aa%e3%81%9f%e3%82%92%e8%bc%9d%e3%81%8b.html)

【大分県】

『あんたは何しに NPO へ?』YouTube 動画（第 7 回）を発信します！

県では、特に若い世代や県内企業などに対し、県内で NPO 活動に取り組む若者たちの思いや活動内容を発信することで、NPO の認知度・信頼度を高め、NPO の活性化や多様な主体による協働の推進を図ることを目的に、NPO 活動の PR 動画を制作しました。『あんたは何（なん）しに NPO へ?』是非御覧ください！（全 7 団体）

<https://www.pref.oita.jp/site/npo/npodouga7.html>

【編集後記】

コラムのテーマであるフリーターについて、若者の意識やイメージは大きく変わり、傾向についても一概に絞れなくなってきているようです。堀さんは SNS などによる情報入手のしやすさについて言及していましたが、これは、今の若者が毎日のように大量の情報から自分に必要なものを選び取り、精査する必要があるということであり、その複雑性が多様な価値観を生み出しているともいえるでしょう。日々進化する生活のなかで、若者たちがどのような意識を持っているのか、共に働く私たちも常にブラッシュアップする必要があるでしょう。

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。

このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>